



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

JOCオリンピック教室

実施報告書

宮城県 気仙沼市立津谷中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和6年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
 オリンピアン自身の様々な経験を通して
 「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
 この価値はオリンピアンだけのものではなく、多くの人々が共有し、
 日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学校2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピアンはJOCが選定
- 期間： 2024年4月～2025年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
 チームワーク、フェアプレー、身体を動かす
 ことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた
 オリンピックの価値を生徒に伝え、
 オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。
※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

- **オリンピック**： サイド横田 仁奈 先生 (体操／新体操)
【出場オリンピック／ロンドン2012大会】
- **期 日**： 2024年11月6日(水)
- **ク ラ ス**： 2年1組／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



体操／新体操競技でロンドン2012大会に出場したと自己紹介。新体操競技にはロープ、フープ、ボール、クラブ、リボンの5つの手具がある。オリンピックバリューについて説明し、運動の時間は3つの価値を意識して取り組んでほしい。準備運動では班毎に1列に並び前の人の肩に手を乗せ、先生の合図に従い前後左右にジャンプする。その後、ラダーを使ったトレーニングを実施。1マスずつ走る、片足跳び、両足跳び、膝を胸に近づけるように高くジャンプしながら進む等行う。

○主運動等



主運動はボールパスリレーを実施(全3回)。3チームに分かれ、2人組になり4カウントで1回ボールを床にバウンドさせてから相手にパスをする動きを繰り返しながら走る。折り返し地点のコーンを回りスタート地点に戻り次のペアにボールを渡す。アンカーがゴールし全員が座った時点でゴールとする。作戦と練習タイムを設けた後、相手がパスをキャッチしやすいように思いやりの気持ちを持って取り組んでほしいと伝える。3回目は2チームでの対抗戦に変更して実施。



運動の時間を振り返り、授業冒頭に伝えたように、仲間と協力しながら最後まで諦めずに挑戦し続けたことやお互いに称え合うことが自然に実践できていた。これらはオリンピックバリューに当てはまり、皆が意識しながら一生懸命取り組んでくれた証である。次の座学の時間では、運動の時間を振り返りながら、皆の発言や行動が3つの価値のどの部分に当てはまっているのかを一緒に考えていきたいと伝え、授業終了。

- **オリンピック**： サイド横田 仁奈 先生 (体操／新体操)
【出場オリンピック／ロンドン2012大会】
- **期 日**： 2024年11月6日(水)
- **ク ラ ス**： 2年1組／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



映像を見ながら体操／新体操競技でロンドン2012大会に出場したと改めて自己紹介。団体では5人が息を合わせて動きを揃えることも重要だが、息が上がり苦しくても笑顔を崩さないように演技し続けなければならない。夢を叶えるために仲間と毎日12時間近い練習をし、お互いに敬意や思いやる気持ちを持つことで、よりチームワークを高めて全員がさらに力を発揮できることを学んだ。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：自分の夢や目標のために何をやるべきかをオリンピックバリューに当てはめて考えよう。
 発表：エクセレンス：「長所を伸ばす」「練習から全力で取り組む」「英検準2級をとるために1日に英単語を5つ覚える」等
 フレンドシップ：「仲間を大切に」「息を合わせて皆で頑張る」「お互いを理解し合いプレーする」等
 リスペクト：「試合で仲間に良いプレーだった、ありがとう等を伝える」「思いやりを持ってプレーする」等



座学の時間を振り返り、グループワークで班の仲間と意見を出し合い発表してくれたことから、オリンピックバリューはオリンピック選手やスポーツだけの特別なものではなく、皆の学校生活にも繋がっていることを理解してくれていると感じた。これからの人生において、夢や目標を叶えるためだけでなく、普段の日常生活にもこの3つの価値を活かしてほしい。何事も途中で諦めずに、最後まで一生懸命に努力し続けてほしいと話し、授業終了。

■オリンピック： サイド横田 仁奈 先生 (体操／新体操)
【出場オリンピック／ロンドン2012大会】

■期 日： 2024年11月6日(水)

■ク ラ ス： 2年2組／運動の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ 準備体操



体操／新体操競技でロンドン2012大会に出場したと自己紹介。新体操競技にはロープ、フープ、ボール、クラブ、リボンの5つの手具があることを説明し、リボンを使った技を披露する。オリンピックバリューについて説明し、運動の時間は3つの価値を意識して取り組んでほしい。準備運動は班毎に1列になり前の人の肩に手を乗せ、先生の合図で前後左右にジャンプする。合図と同じことを言いながら同じ方向あるいは反対の方向に動く。その後、3チームに分かれラダーを使ったトレーニングを実施。

○主運動等



主運動はボールパスリレーを実施(全2回)。3チームに分かれ、2人組になり2カウントで1回ボールを床にバウンドさせてから相手にパスをする動きを繰り返しながら走る。折り返し地点のコーンを回りスタート地点に戻り次のペアにボールを渡す。1回目の実施前に練習タイムを設け、どうすれば上手くパスできるかを考えてほしいと伝える。2回目はボールを山なりに投げてパスをするルールに変更。投げる時に相手の顔に当たらないように相手を気遣ってほしいと話す。



運動の時間を振り返り、授業冒頭に話したオリンピックバリューについて、皆が一生懸命に取り組んでいる姿から、しっかりと体現することができていて素晴らしかった。次の座学の時間では、競技人生での経験も当てはめながら、さらに詳しく3つの価値について一緒に考える時間にしたいと伝え、授業終了。

■ **オリンピック**： サイド横田 仁奈 先生 (体操／新体操)
【出場オリンピック／ロンドン2012大会】

■ **期 日**： 2024年11月6日(水)

■ **ク ラ ス**： 2年2組／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



小学校1年生の時から体操／新体操競技を始め、北京2008大会を見たことがきっかけでオリンピックを目指した。代表に選ばれるためには自分だけではなく仲間に声を掛け、思いやる気持ちを持つことでチームワークを高め、そのような言動が自分の成長にも繋がることを知った。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：自分の夢や目標のために何をやるべきかをオリンピックバリューに当てはめて考えよう。

発表：エクセレンス：「大会で勝つために日々の練習に全力で取り組む」「新人戦で多く勝つために諦めずにプレーする」等

フレンドシップ：「友達と仲良くするためお互いを理解する」「サッカーの試合で勝つために仲間と協力する」等

リスペクト：「県大会で目標を達成できるように努力したり沢山のの人に感謝の気持ちを持つ」等



座学の時間を振り返り、皆が意見を出し合い書き出してくれたことで、オリンピックバリューについて、より深く理解できていて素晴らしかった。今後、夢や目標に向けて、上手く行かず苦しい時もあると思うが、この3つの価値を活かしながら途中で諦めずに頑張ってもらいたい。何事も継続し続けることが大切であり、成し遂げるべきことを文字として書き出し、何度でも挑戦する気持ちを持って過ごしてほしいと話し、授業終了。

■集合写真

・2年1組



・2年2組



■記念品贈呈

・2年1組



・2年2組



■修了証贈呈

